

2014年6月4日

熊本市長 幸山政史 様
菊陽町長 後藤三雄 様
大津町長 家入 勲 様
南阿蘇村長 長野敏也 様
熊本県知事 蒲島郁夫 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島 康

連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13

電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

立野ダム建設促進に対する抗議文

白川流域4市町村（熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村）でつくる「白川改修・立野ダム建設促進期成会」が5月20日に総会を開き、立野ダムの本体工事の早期着工と事業の推進を強く要望するとする方針を決めたことに対し、強く抗議します。

立野ダムの総事業費は、当初予算の2倍以上の917億円に膨れ上がり、熊本県の負担額は917億円の3割、275億円（県民一人あたり約1万5000円）にもなります。公共事業は本来、住民の税金により、住民のために行われるべきものです。ところが、白川流域に住む多くの人たちは、「立野ダムはどんなダムで、何を目的につくられるのか、どこにできるのか聞いていない」という実情です。このような現状にもかかわらず、事業主体である国土交通省は、住民が要望している立野ダムの説明会を開催しようとしません。現に「ダムによらない治水・利水を考える県議の会」が国土交通省に説明を求めた集会さえも、同省は出席を拒否しました。さらには、住民団体が繰り返し提出した立野ダムに関する質問状にさえ真摯に回答しようとせず、「当省のホームページを見るように」との見解を繰り返すばかりです。国は住民に対し、立野ダムについての説明責任を果たしているとはとても言えません。

立野ダム事業が多くの問題を抱えている点は、これまで貴職に対して何度も提出しました要望書等で述べたとおりです。立野ダム事業についての説明責任が全く果たされていない状況の中、立野ダムの本体工事の早期着工と事業の推進を強く要望するとする方針を決めたことに対し、強く抗議するとともに、下記2点について国土交通省に要請することを強く求めます。

記

1. 白川流域の市町村ごと、熊本市にあっては白川沿いの中学校区ごとに立野ダム事業に関する説明会を開催することを、国土交通省に要請すること。その際、住民の質問については真摯に回答し、住民の意見を十分に聞くこと。
2. 上記説明会が開催され、国が立野ダム事業についての説明責任を果たすまでは、立野ダムの転流工事（仮排水路トンネル工事）に着工しないように、国土交通省に要請すること。

以上